

徳島県歯科技工士会 第101回生涯研修（自由研修課程）

日時：2023年10月29日（日）

講師：生田龍平先生（日技認定講師）

演題

- ①「総義歯製作の上手くいくポイントとは」
- ②「歴史からみた排列基準の変遷」

抄録

総義歯の歴史をたどればギージーのフルバランスドオクルージョンや歯槽頂間線法則は皆さんご存知の通りだと思います。さらにさかのぼるとボンウィルの3点接触咬合理論などフルバランスの原型になる理論もあります。なぜそのような理論が生まれたのかを考えていきたいと思っています。

そして先人達が発表したその理論は現在も脈々と受け継がれていると思います。例えば歯槽頂間線法則は食物を噛んだ時に義歯床ができるだけ動かない事を目的とし、その考え方はリングライズドオクルージョンに発展していきます。フルバランスドオクルージョンについても咀嚼時の咬合面のあり方で現在ほどの様に顎運動をするかによっても変わってくると思います。また歯科界もデジタルの時代に突入していると思いますが、義歯にしても然りです。そうなった時でも何が大切かのキーワードは決して忘れず進めていくことが重要で、ただキーボードを打てば来るのではなく今までの基本的な考え方を踏襲しデジタルへの移行もしくは併用が必要かと思っています。

今回は今まで行ってきた考え方を臨床のケースも含めてお話をしたいと思います。